あおもり「みんなの」

防災ふくしセンター

４７プロジェクト情報共有会議

令和8年度 事業計画と進捗



01

担当職員紹介

	職名	氏名	担当業務
	特別推進員	**鳴海　孝彦（委嘱）**	センターアドバイザー、市町村・市町村社協説明（県災害福祉Co）
	事務局次長 地域福祉課長	**葛西　勇樹（兼任）**	総括、センター設置、アドバイザー、企画会議、準備会、多機関協働型被災想定訓練、防災ふくし支援部会
	地域福祉課 係長	**近藤　睦（兼任）**	センター総括補助 市町村社協連事務局
	地域福祉課 主事	**齋藤　唯嘉（兼任）**	第3回、第4回多機関協働型被災想定訓練 DWAT研修
	地域福祉課 主事（採用）	**佐藤　琴美（専任）**	第1回多機関協働型被災想定訓練 災害VC研修

	職名	氏名	担当業務
	地域福祉課 主事（採用）	**森　美紀（兼任）**	センター庶務
	地域福祉課 主事（採用）	**相坂　由美子（専任）**	第2回多機関協働型被災想定訓練 社会福祉法人相互連携部会 DWATネットワーク 社会福祉法人経営協事務局
	地域福祉課 専門員	**根本　亨（専任）**	市町村・市町村社協説明会 地域のもしも支え合い事業 ストックヤード維持・管理
	地域福祉課 専門員	**渡辺　郁子（専任／みらいねっと出向）**	民間企業・団体参加調整部会 防災・災害支援協働ネットワークセミナー
	地域福祉課 専門員	**欠員**	

防災ふくしセンターのアドバイザー

分野	候補者
（１）災害福祉支援・ 社会福祉法人連携・ 防災福祉教育	Office SONOZAKI　代表 園崎 秀治　氏
（２）DX	サイボウズ株式会社 災害支援チームリーダー　柴田　哲史　氏
（３）広報	株式会社エスフェクト 代表取締役社長　窄口　真吾　氏
（４）特別推進員	八戸学院短期大学部　准教授　鳴海　孝彦　氏 （主に市町村、社会福祉法人に対する 説明・周知業務を想定）

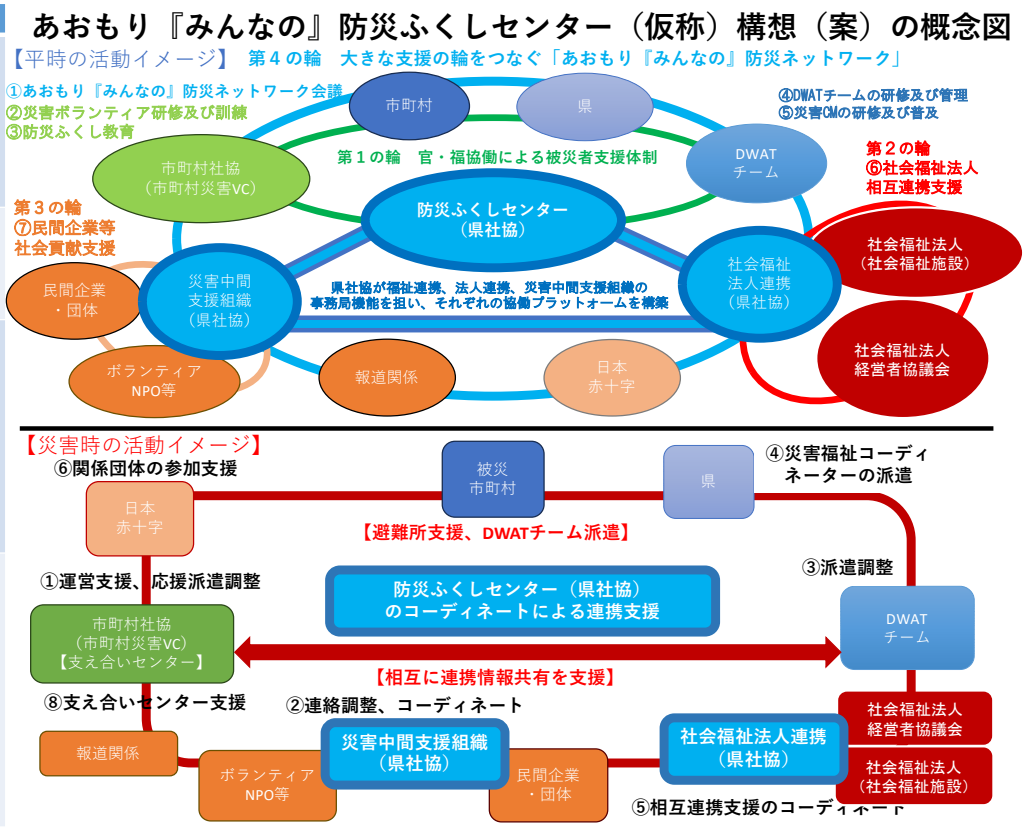
あおもり『みんなの』防災ふくしセンターの基本構想

【基本方針】
「災害ボランティア・災害ふくし支援におけるプラットフォームとしての役割」
①官（県・市町村）
②民（ボランティア・NPO等）
③民（民間企業・団体）
④福（市町村社協・社会福祉法人等）
　の連携・協働による『防災ふくしセンター』

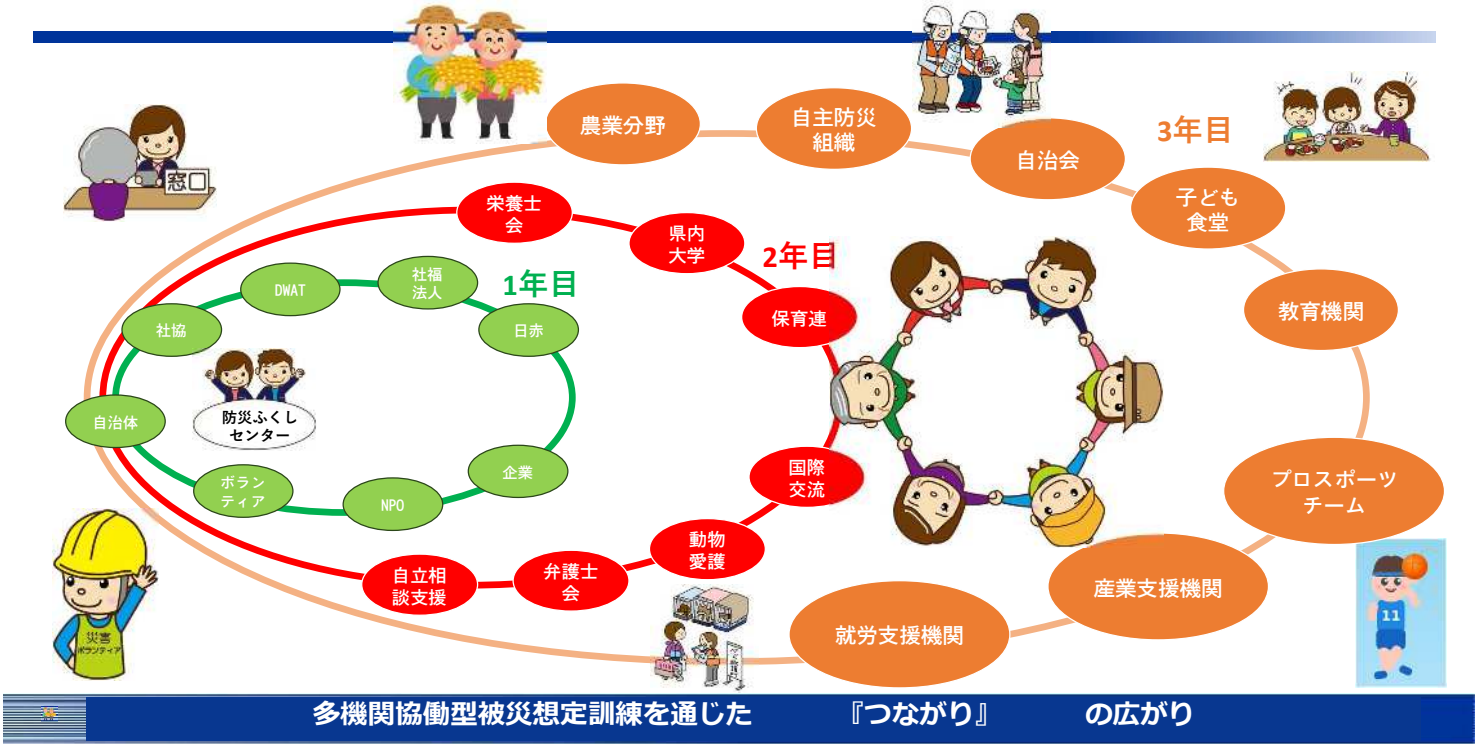
【基本目標】
①災害VCとDWATチームとの連携体制の確立
②災害VCと民間企業等との連携体制の確立
③社会福祉法人（社会福祉施設）との連携体制の確立
④ボランティア・NPO等との連携体制の確立

【平時の活動】
①『みんなの』防災ネットワーク会議の構築
②災害ボランティア研修及び訓練
③防災ふくし教育
④DWATチームの研修及び管理
⑤災害CMの研修及び普及
⑥BCP策定支援
⑦個別避難計画策定支援
⑧社会福祉法人相互連携支援
⑨民間企業等の社会貢献支援
⑩災害中間支援組織

【災害時】
≪県内≫
①市町村災害ボランティアセンターの運営支援
②NPO・民間企業等支援団体のコーディネート
③DWATチーム員の派遣調整
④災害福祉コーディネーターの派遣
⑤社会福祉法人相互連携による支援のコーディネート
⑥被災地支援に係る関係団体の参加支援
⑦①～⑥までの情報共有と連携支援
⑧支え合いセンター支援
≪県外≫
①市町村災害VCへのスタッフ派遣
②DWATチーム員の派遣調整



多機関協働型被災想定訓練を通じた他分野（15分野）との連携イメージ



令和8年度の事業計画

01

ネットワークの設置・運営

ネットワーク会議
4つの部会の設置・運営

02

多機関協働型被災想定訓練

企画検討会議
事前打ち合わせ会
被災想定訓練

03

ネットワーク会議と4つの部会

あおもり「みんなの」防災ふくしネットワーク会議

防災ふくし支援部会

**社会福祉法人等
相互連携部会**

**民間企業・団体
参加調整部会**
災害中間支援組織

ファンドレイジング部会

04

被災想定訓練の企画・検討

企画会議　7月28日（火）／8月26日（水）

令和8年

健康医療福祉政策課
県防災危機管理課
県地域生活文化課
日本赤十字社青森県支部

みらいねっと
弘前大学　冨澤氏
弘前市防災課
弘前市社協

アドバイザー　office園崎 園崎氏
特別推進員　鳴海氏（八戸学院短期大学部）





05

多機関協働型被災想定訓練の概要（第1・2回）

第1回　災害VC・DWATの連携	第2回　福祉避難所の開設・運営
日時　令和8年10月23日（金）～24日（土） 会場　弘前市社会福祉センター 定員　50名程度	日時　令和8年11月26日（木）10:30～16:30 会場　中泊町「パルナス」・内潟療護園 定員　50名
目的　地域の支援ニーズと福祉的評価を結び、 在宅・車中泊避難者等への支援体制を検証	目的　要配慮者を一般避難所から福祉避難所へ つなぐ、多職種の連携体制を検証
主な内容 23日：災害VC・DWATの役割を学び、 受付・マッチング・活動報告を模擬訓練 24日：在宅・車中泊避難者の訪問、 ニーズ入力・対応・情報共有、炊き出し交流	**主な内容** 福祉避難所の役割と開設・運営の講義 受付・アセスメント、DWAT派遣要請・編成 福祉避難所の立上げ・受入れから閉鎖まで 本部・一般避難所・福祉避難所をZoom接続
対象　行政・社協・DWAT・社会福祉法人、 ボランティア・NPO・協定団体等 主催　弘前市社協・青森県社協	対象　社会福祉法人・社協・自治体・関係機関、 ボランティア・NPO・協定団体等 主催　県経営協・中泊町社協・青森県社協

06

多機関協働型被災想定訓練の概要（第3・4回）

第3回　避難所運営・DWAT実践（案）	第4回　厳冬期避難所・福祉支援（案）
日時　令和8年12月5日（土）9:00～17:10 会場　弘前市内（午前：北小学校） 午後の会場・定員は調整中	日時　令和9年1月・1泊2日（日程調整中） 会場　弘前大学（詳細・定員は調整中） 予定　1日目13:00開始、2日目12:00閉会
目的　避難所を「生活の場」として捉え、 福祉ニーズの把握と多機関の実践力を高める	目的　寒さ・降雪・停電・断水を想定し、 避難者の生命と健康を守る運営体制を検証
主な内容 9:00～14:00：避難所設置・運営演習、 非常食の試食、熊本地震の活動報告 14:30以降：避難所支援の振り返り、 医療との連携に関する講義・演習	**主な内容** 1日目：避難所設営、ベッド・トイレ設置、 生活用水・宿泊体験、睡眠デバイス実証 2日目：発災72時間後の要配慮者支援、 福祉避難所搬送・災害VC活動・支援会議
対象　行政・社協・DWAT・社会福祉法人、 ボランティア・NPO・協定団体等 主催　地域みらいねっと・青森県社協	対象　大学教職員・学生、行政・社協・DWAT、 社会福祉法人、ボランティア・NPO・協定団体等 主催　SAVE LIFE あおもり・弘前大学・青森県社協

06-2

※第3・4回は実施案。第3回14:30以降はDWAT・社協・行政・保健関係者が対象。

センター設置に向けた準備会

令和8年

第1回　6月12日（金）　　**第2回　10月2日（金）**



センター構想の普及啓発、協定調印式の準備など

参加機関・団体

県防災・福祉・NPO等担当課 県市町村社協連 県経営協 日赤青森県支部 地域みらいねっと	青年会議所 連合青森 ライオンズクラブ国際協会 県生協連

アドバイザー・特別推進員

office園崎 園崎氏　／　鳴海氏（八戸学院短期大学部）

07

11月10日の説明会と協定調印式

令和8年

11/10

火曜日

14時　報道機関向け説明会

県内報道機関に向けた説明

16時　協定調印式

県・県市町村社協連・県経営協
日赤青森県支部・県社協

五者協定



08

市町村社協向けオンライン説明会

令和8年8月26日（水）

45 名が参加

30 社協が参加

アーカイブ動画を作成
すべての市町村社協が視聴可能





09

圏域別説明会の日程　前半



市町村・市町村社会福祉協議会向け／令和8年

圏域	実施日・時間	会場
三八	10/5（月） 13:30～15:00	八戸市総合福祉会館 はちふくプラザねじょう
下北	10/27（火） 13:30～15:00	むつ市社会福祉協議会 中央公民館
上北	10/29（木） 10:00～11:30	七戸町総合福祉センター ゆうずらんど

10

圏域別説明会の日程　後半

市町村・市町村社会福祉協議会向け／令和8年

圏域	実施日・時間	会場
西北	10/30（金） 10:00～11:30	五所川原市生き活きセンター
東青	11/4（水） 10:00～11:30	青森市福祉増進センター しあわせプラザ
中南	11/24（火） 13:30～15:00	弘前市社会福祉センター

11

社会福祉法人経営者協議会の取組

災害時における法人連携検討会の活動を
社会福祉法人等相互連携部会へ引き継ぐ予定

現行の検討会は発展的に解消する予定

周知・検討

運営委員会・経営青年会
児童・老人・障害・地域共生
社会推進の各委員会で周知
災害対応を検討課題に盛り込む

説明・参加

各種セミナーで事業説明

多機関協働型被災想定
訓練へ参加

12

広報・啓発の取組

SNSの運用を開始

Facebook
Instagram
X



関係団体での説明

生協連「2026年度理事研修会」
で事業を説明

13

令和8年度第1回あおもり『みんなの』防災ふくしセンター情報共有会議



日時　令和8年10月13日（火）11時～12時

方法　オンライン

関係者の皆さんと、令和8年度の事業計画・進捗状況と今後の取組を共有しました。

主な共有内容

センターの体制と関係機関の連携
ネットワーク会議・4部会の設置、運営
多機関協働型被災想定訓練の計画
センター設置の準備、周知・広報の進捗

次回以降の開催予定

各回 16:00から

第2回　令和8年11月30日（月）
第3回　令和9年1月15日（金）
第4回　令和9年3月12日（金）

出席者　計21名

アドバイザー、弘前大学、日赤青森県支部、連合青森
経営協、県健康医療福祉政策課、県防災危機管理課
弘前市防災課、深浦町社協、中泊町社協、弘前市社協

DWAT訓練用 kintoneデモ





日時　令和8年10月13日（火）13時15分～14時30分
方法　オンライン

行政機関や社協、NPO・ボランティア団体、その他関係機関が
災害時に円滑に活動できるよう、DXの活用事例について、
アドバイザーのサイボウズ株式会社 柴田哲史氏から
説明をいただきました。

住民調査と地図による情報共有

スマートフォンで住民調査を入力。
写真・位置・支援ニーズを地図で共有。
本部で訪問状況を確認し、支援につなぐ。

活動日報の集約とAI分析

各団体の日報を集約し、AIで分析。
状況・課題を現場と本部で共有し、
次の派遣チームへの引継ぎに活用。

今回の説明内容を、今後の訓練に活用していく予定です。

平時から、個人情報の共有ルールと閲覧権限を関係機関で整理することも重要です。

今後の会議・部会運営と訓練報告

ネットワーク会議の設置・運営

設置・運営する会議・部会

あおもり「みんなの」防災ふくしネットワーク会議
①防災ふくし支援部会
②社会福祉法人等相互連携部会
③民間企業・団体参加調整部会
④ファンドレイジング部会

訓練後の共有

多機関協働型
被災想定訓練の
オンライン報告会

14

民間企業・団体との連携に向けて

民間企業・団体参加調整部会（災害中間支援組織）

01 **協働ネットワークセミナー**
防災・災害支援をテーマに、みらいねっとと共催

02 県内の防災・災害に係る研修・訓練の情報収集

03 災害支援団体のリスト作成

04 防災教育の講師をリスト化

15

今後の主な予定

令和8年10～12月、令和9年1月

10月	11月10日	11～12月	令和9年1月
圏域別説明会 10/23・24 弘前市で訓練	報道機関向け説明会 五者協定の調印式	圏域別説明会 11/26 訓練 12/4 訓練	厳冬期の避難所演習 DWAT研修 災害VC演習 （1泊2日）

16